

ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

日本は、地震、豪雨、台風等、多くの自然災害にみまわれました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。今もなお、多くの方が不自由な生活をおくられています。

一日も早い復興、復旧を心よりお祈り申し上げます。

日本国内の景気は、政府による政策のもと緩やかに拡大しています。企業の設備投資は企業収益が改善基調をたどり、増加傾向にあります。また、個人消費も、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかに増加しています。

しかし、少子高齢化による人口減少や就労人口の減少といった国内の構造的な問題に加え、米中貿易摩擦の深刻化、中国経済の減速、原油価格の高騰などの国際的な問題により景気の先行きには不透明感が増しています。

中小企業にあっては、人手不足に伴う人件費の高騰や原材料価格の上昇などコスト増加による収益面の問題、潜在的に抱えている経営者の高齢化、後継者問題の深刻化など多くの経営課題に直面しています。

そうした中、平成30年9月末の預金残高は7,461億円、貸出金残高は3,409億円となり、当期純利益は、お蔭さまをもちまして896百万円を計上することができました。また、経営の健全性を示す自己資本比率は10.25%と十分な水準にあります。

仮決算の概況を次ページ以降にグラフを用いて分かりやすくまとめてみましたので、ご一読いただければ幸甚でございます。

平成30年度は、新たな中期3ヶ年事業計画「共創力～豊かな地域の未来を創る信用金庫を目指して～」の初年度であります。

〈にっしん〉は引き続き「お客さま第一主義」を旨とし、地域経済がどのような環境下であろうとも、地域住民や中小企業のライフステージに応じて発生するさまざまな課題の解決に向けてきめ細やかな支援に努め、的確で円滑な資金供給を通じて地域社会の持続的発展に貢献できるよう一生懸命に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月

ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

日本は、地震、豪雨、台風等、多くの自然災害にみまわれました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。今もなお、多くの方が不自由な生活をおくられています。

一日も早い復興、復旧を心よりお祈り申し上げます。

日本国内の景気は、政府による政策のもと緩やかに拡大しています。企業の設備投資は企業収益が改善基調をたどり、増加傾向にあります。また、個人消費も、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかに増加しています。

しかし、少子高齢化による人口減少や就労人口の減少といった国内の構造的な問題に加え、米中貿易摩擦の深刻化、中国経済の減速、原油価格の高騰などの国際的な問題により景気の先行きには不透明感が増しています。

中小企業にあっては、人手不足に伴う人件費の高騰や原材料価格の上昇などコスト増加による収益面の問題、潜在的に抱えている経営者の高齢化、後継者問題の深刻化など多くの経営課題に直面しています。

そうした中、平成30年9月末の預金残高は7,461億円、貸出金残高は3,409億円となり、当期純利益は、お蔭さまをもちまして896百万円を計上することができました。また、経営の健全性を示す自己資本比率は10.21%と十分な水準にあります。

仮決算の概況を次ページ以降にグラフを用いて分かりやすくまとめてみましたので、ご一読いただければ幸甚でございます。

平成30年度は、新たな中期3ヶ年事業計画「共創力～豊かな地域の未来を創る信用金庫を目指して～」の初年度であります。

〈にっしん〉は引き続き「お客さま第一主義」を旨とし、地域経済がどのような環境下であろうとも、地域住民や中小企業のライフステージに応じて発生するさまざまな課題の解決に向けてきめ細やかな支援に努め、的確で円滑な資金供給を通じて地域社会の持続的発展に貢献できるよう一生懸命に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月

お詫び:自己資本比率に計算相違がありましたので一部訂正させていただいております。